

ニュージーランド – 先進国で最も早い利上げ–

＜0.25%の利上げ、2.75%へ＞

3月13日、ニュージーランド準備銀行（以下、RBNZ）は政策金利であるオフィシャル・キャッシュ・レート（Official Cash Rate）を0.25%引き上げ、2.75%とすることを決定しました。

RBNZは2011年に大地震の対応として利下げを行って以来、政策金利を据え置いてきましたが、主要先進国が低金利政策を続ける中、いち早く利上げに舵を切ることとなりました。

声明文では、好調な経済を背景にインフレ圧力は向こう2年間拡大が続くとの見通しが示され、今後、インフレ期待の抑制を継続し、需要が更に増加しない水準まで利上げを行うと述べています。

＜ニュージーランドドル（NZドル）は上昇基調＞

昨年後半、RBNZが利上げの可能性に言及し、NZドルは上昇しました。米国の金融緩和縮小を受けて下落する場面もありましたが、2月以降、概ね上昇基調を維持してきました。

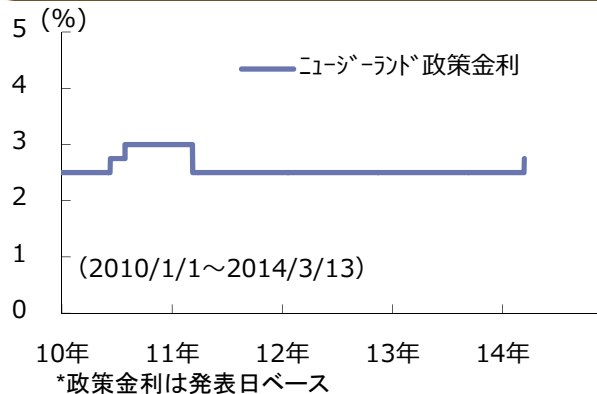
総裁発言等から追加利上げに対する期待が広がり、発表後のNZドルは上昇しました。13日東京市場11時現在、1NZドル=0.856米ドル、1NZドル=87.91円となっています。

＜金融政策と為替の見通し＞

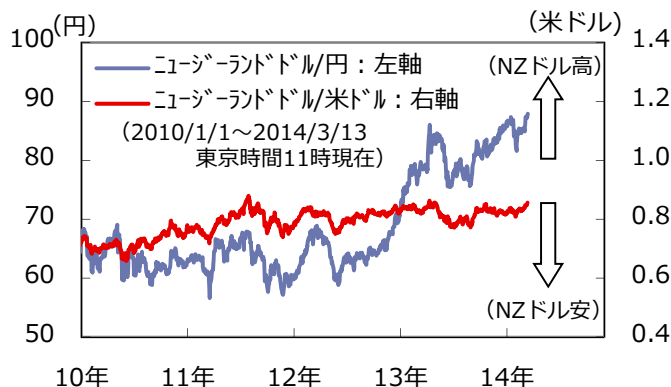
RBNZは今回の声明で、2015年の経済成長率見通しを前回の3.0%から3.5%に引き上げました。これまでの低金利政策や復興需要などから同国経済は好調に推移しており、インフレ率は2016年に2.1%に達する見通しです。RBNZはインフレ率を目標中央値の2%近辺に維持するよう今後も利上げを行っていくと見られます。

一方、為替については、NZドル高は輸出セクターに悪影響を及ぼしているとの見方を繰り返すに留まり、通貨高に対する強い警戒感はありませんでした。NZドルは金利上昇期待を背景に、中長期的に堅調に推移すると思われます。

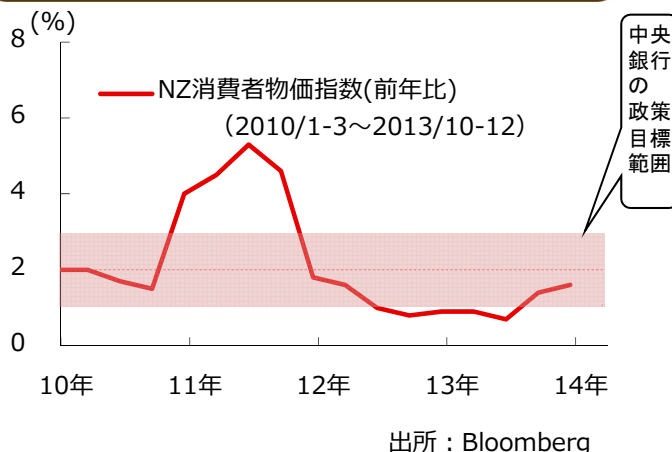
＜政策金利の推移＞



＜NZドル為替の推移＞



＜消費者物価指数の推移＞



■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。



大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

大和住銀投信投資顧問株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第353号
加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大 1.24200%（税込）但し、最低 2,700 円（税込）の委託手数料が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。

消費税率は、2014 年 4 月 1 日以降の税率である 8% で計算しております。

- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30% 以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等：大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会